

日奈久っ子



八代市立日奈久小学校
学校便り 第5号
令和2年5月14日発行
文責 中村

3つのいっぱい「えがお・やるき・げんき」

子供達のがんばりに拍手! 保護者の皆様の御協力に感謝!

保護者の皆様におかれましては、臨時休校中における登校日、学習支援日、毎日の状況連絡等への御協力大変ありがとうございます。

子供達は「自ら新しい内容を学習する。」という今までとは違うスタイルで家庭学習での戸惑いも多かったことと思います。でも、担任の先生からは「子供達は、よくやっています。」「全員が、課題をクリアしていました。」等の話をたくさん聞くことができ、大変感心いたしました。

4年以上の4～5人に「習っていない事を家で勉強するのはどうだった?」と質問をしてみました。全員が「難しかったです。」と答え、そのうち1人は「超、難しかったです。」と答えてくれました。「分からなかった時はどうしたの?」と聞くと「教科書を読んだり、他の本で調べたり、家の人に聞いたりしました。」という答えでした。

これまでの宿題は習った事をすればよかったので、憶えていれば分かるし、忘れていても、調べるのにさほど苦労はしなかったと思います。

習っていない事は、自分でなんとか探して調べなければならないので、時間がかかります。難しいです。でも実はこれが本来の学びの姿であり、自ら苦労して調べ自ら理解するという道筋をたどることで、その理解はより自分のものとなります。苦労して調べて理解できたことが喜びになりそれが力になると考えます。子供達は本当にがんばったなあと思います。

そんな子供達を日々支え励ましてくださっている保護者の皆様、本当にありがとうございます。コロナ禍で保護者の皆様も御苦労があることと存じますが、頑張ってください。保護者の皆様のお陰で、子供達も頑張ることができていると考えます。感謝の限りです。

学校では、十分な支援ができない部分も多く、大変心苦しい限りですが、子供達がうまく理解できなかった部分等を中心に、確認したり、補足したりしながら学習を進めます。

予習を中心とした学習方法が身に付くと、問いが生まれ、主体的で深い学びにつながります。困難の中ですが、子供達はある意味貴重な経験を積んでいると考えます。やる気いっぱいの日奈久っ子! 今後も楽しみです。



「母の月」カーネーションのプレゼント

5月12日(火)、6年生の丸尾うららさんがお母さんと一緒に、カーネーションを学校に届けてくれました。カラーでお見せできないのが残念ですが、ピンク・オレンジ・紫・黄色等々カラフルでとてもきれいでした。コロナ禍で、5月は「母の月」となっているそうです。日奈久小の母(父も?)は大喜びでした。ありがとうございました。



今後の学校再開について

18日(月)からの段階的な学校再開について報道がなされていますが、現時点で、八代市教育委員会の連絡はありません。通知がありましたら、すぐに保護者の皆様にはメール等でお知らせ致します。

18日(月)は学習支援日となっております。今後の登校や学習について詳細を、子供さんを通して連絡する予定ですので、この日は、子供さんの登校をお願いいたします。



少しずつ、新規の感染者も少なくなってきましたが、新型コロナウイルスとは、今後もしばらくは共存して行かねばならないとの報道もあります。「新しい生活様式」という言葉も出てきました。学校再会しても、感染拡大防止対策と行動は続けていく必要があるようです。